

プロロジス、アースデイに賛同し 全国の物流施設 46 棟で内照式看板を消灯

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役会長 兼 CEO:山田 御酒)は、地球の環境問題について考える記念日「アースデイ」に賛同し、4月22日の夜間、全国で運営中の賃貸用物流施設「プロロジスパーク」の夜間消灯を実施します。

消灯に取り組むのは全国で運営および開発中の物流施設91棟のうち、プロロジスパーク46棟です。該当の全物流施設は、外壁に掲出された企業ロゴを消灯するほか、一部の施設では、エントランス間接照明、通路の一部、休憩室の一部、風除室、エレベーターホールの一部等の共用部も消灯し、施設利用者や訪問者への啓発に努めます。

プロロジスは、2013年4月22日よりこの取り組みを開始しました。2013年は、関東の物流施設2棟で実施し、徐々に規模を拡大。2024年からは、一般社団法人不動産協会 物流事業委員会の呼びかけにより、同委員会参加企業のうちアースデイの趣旨に賛同した各社にて連携し実施しました。また、プロロジスパークの入居企業にも協力を依頼。賛同各社も施設外壁に掲出された企業ロゴの消灯に応じました。

今年、プロロジスとともに消灯に取り組む入居企業は、アークランズ株式会社、アマゾン京田辺フルフィルメントセンター、エレコム株式会社、株式会社スズケン、鈴与株式会社、センコー株式会社、株式会社タカラトミー、武州製薬株式会社、株式会社ヤオコー、ユーピーエス・ジャパン株式会社、株式会社 ZOZO の全11社(五十音順)です。

■ プロロジスのネットゼロに向けた取り組みと「プロロジス・グリーン・ソリューション」

プロロジスは2040年までに、バリューチェーン全体(スコープ1・2・3)で温室効果ガス排出のネットゼロを目標としており、温室効果ガス削減のためのさまざまな施策を展開しています。また、プロロジスの事業運営における削減にとどまらず、入居企業の電力グリーン化・環境負荷軽減を支援する「プロロジス・グリーン・ソリューション」を進めています。2023年1月には東京オフィス内に「エネルギー事業室」を新設。新規エネルギー事業や、再生可能エネルギーの活用に取り組むとともに「プロロジス・グリーン・ソリューション」の一環としてカスタマーの電力グリーン化を支援しています。



<電力使用量削減への取り組み例>

| | |
|--------------------------------------|---|
| 太陽光発電の自家消費・余剰自己託送 | <ul style="list-style-type: none">● 2025年12月時点で日本国内における発電容量は約85MWに達しています。さらに、建設中の物流施設を含めれば発電容量は100MW規模を見込んでいます。 https://www.prologis.co.jp/solutions/energy |
| センサー付きLED導入 推進・物流施設用のLED 照明の開発 | <ul style="list-style-type: none">● 物流施設の階段やトイレ等、共有部に人感センサーLEDを採用し、事務所部分の照明には外光の明るさに応じて照度を調整する昼光センサーを採用しています。● 既存LED照明比で電力使用量を56%削減可能な高天井用のセンサー付きLED照明を共同開発し、物流施設に導入しています。 https://www.prologis.co.jp/press-releases/181010 |
| 電気使用量等を可視化する「プロロジススマートボックス」 | <ul style="list-style-type: none">● 物流施設内のカスタマー毎の電気・水道使用量や、気温、湿度、雨量、風速、地震などの環境データを詳細かつリアルタイムに取得・分析し、環境負荷を低減しています。 |

プロロジスは、今後も環境に配慮した事業運営を目指すとともに、カスタマーのサステナビリティに関する目標達成をサポートしてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>